

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向 関連  (四国)	良く なっている	商店街（事務局 長）	来客数の動き	・4月中旬に開業した商業施設の集客効果が継続中であるとともに、街全体のイメージが向上しており、今後多くの顧客を惹きつけられると思われる。
	やや良く なっている	コンビニ（店 長）  設計事務所（所 長）	単価の動き  販売量の動き	・競合店の出店で、客数・売上ともに減少しているが、来店客の客単価は前年比2%増加している。これまでの節約や買い控える状況から脱してきたと感じる。 ・公共事業の発注が、集中的に行われている。
変わらない		商店街（代表 者）	来客数の動き	・土日の来街者数は、観光客を中心にますますの水準で推移しているが、平日が悪い。夏物商戦の出足は良かったものの、クリアランスセールの出足が悪く、一進一退の状況である。
		一般小売店〔生 花〕（経営者）	それ以外	・美容室や病院関係の新規開業が多く、お祝い用商品が動いた。しかし、一般向けの店舗販売は伸びず、特に雨の日の客足が悪かった。
		一般小売店 〔酒〕（販売担 当）	販売量の動き	・売上が落ち込んだまま、販売量に動きがない。
		百貨店（営業担 当）	来客数の動き	・客単価は増えているが、来客数は、前年と比べて2～3%程落ちている。
		百貨店（販売促 進担当）	お客様の様子	・中元シーズンが始まったが、昨年同様に注文件数が減り、客単価も下がったままである。
		スーパー（店 長）	単価の動き	・商品の単価は下落しているが、トータルの客単価は上昇しており、あまり変わらない状況である。
		スーパー（企画 担当）	来客数の動き	・東日本大震災の影響で落ち込んでいたたばこは震災前の水準に戻った。ただ、全体的に来店客数が減少しており、売上が伸びていない。
		スーパー（財務 担当）	販売量の動き	・昨年より若干悪いものの、売上全体に大きな変化はない。
		家電量販店（店 長）	来客数の動き	・やはりテレビの販売台数減少による影響が一番大きく、来客数が2割減少している状況が続いている。
		家電量販店（営 業担当）	販売量の動き	・エアコンの販売台数が6月後半から増えてきているが、前年の水準にはまだ及ばない。冷蔵庫、洗濯機については、先月より落ち込んでいる。メーカーの同じ商品群でも、これまでと発想を変えてきている商品が売れるようになってきた。
		乗用車販売店 （従業員）	販売量の動き	・エコカー補助金の駆け込み需要を期待しているが、販売台数は前年を上回っているものの、予想したほどの販売台数ではない。
		乗用車販売店 （役員）	販売量の動き	・エコカー減税の継続と補助金によって受注は堅調に推移しているが、補助金終了後の反動を危惧している。売上の落ち込みを新車のマイナーチェンジでカバーできるか期待したい。
		タクシー運転手	来客数の動き	・街なかでは、昼も夜もタクシー利用客は少ない。今年は四国八十八箇所参りを逆に参る「逆打ち」する人が多く、昨年よりは遍路客が増えており、落ち込み分を多少補えている。
		タクシー運転手	お客様の様子	・3か月前と比べて、あまり変化はない。売上もあまり変化はない。梅雨入りし、利用客は例年並みにあるが、夜の繁華街は人どおりが少なく、タクシー利用客も少ない。
		通信会社（営業 担当）	お客様の様子	・夏モデルの発売を待つ顧客が多く、売上は伸びていない。ただ、夏モデルが発売されたからといって市場が活性化すると考え難い状況である。
		通信会社（企 画） 競艇場（職員）	お客様の様子  販売量の動き	・オプションチャンネルの加入数に変化が無く、状況は変わらない。 ・6月は施設改修工事のため、上旬までしか本場での開催がなかった。そのため、売上は前月比2.9%減、3か月前比6.8%減となった。
		美容室（経営 者）	来客数の動き	・以前にも増して、主婦層の来店サイクルが開いている。
設計事務所（職 員）	競争相手の様子	・前年度分の残務量が多くあり、この仕事を有している間は景気は変わらない。		

	やや悪くなっている	商店街（代表者）	お客様の様子	・消費増税法案が成立すれば、中小零細企業にとって致命的な悪材料になる。まちづくり三法の見直しについても、過当競争に拍車をかけ、今後生き残っていくことも厳しくなる。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・前年同月に比べて来客数が減少しており、顧客動向の偏りが感じられる。
		一般小売店〔酒類〕（経営者）	販売量の動き	・特になし。
		一般小売店〔乾物〕（店員）	販売量の動き	・中元シーズンに入ったが、注文数が例年以上に少ない。
		百貨店（総務担当）	販売量の動き	・輸入雑貨やアクセサリーなどの売行きが鈍化している。加えて、高級婦人服等の売上のマイナス幅が拡大している。
		スーパー（企画担当）	来客数の動き	・消費の鈍さが目立っている。
		衣料品専門店（経営者）	競争相手の様子	・昨年冬にオープンした大型ショッピングセンターの影響がいまだに大きく、厳しい状態が続いている。
		家電量販店（店員）	単価の動き	・単価の高いものは売れず、安いものが売れるため、同じくらいの数量が売れたとしても、総売上が低下している。
		乗用車販売店（従業員）	来客数の動き	・現状では、来店客数は減ってきているが、今後、優遇・減税制度の終了に伴って、来客数が変わってくると思われる。
		乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・販売実績は、前年比127.4%、前々年比111.6%とエコカー補助金効果が現れている。ただ、軽自動車7万円の補助金だけでは効果が薄く、お買得車の設定や用品プレゼントなど自社独自施策でユーザーの購買意欲を掘り起こし、拡販に結び付けている。
		観光型旅館（経営者）	来客数の動き	・6月の客の入込状態が非常に悪い。また、7月の予約状況も悪い。四国という立地の問題や、関東や東北に目が向いているなど、そういう事情があると考えている。
		都市型ホテル（経営者）	来客数の動き	・観光客の大幅減少が続いている。5月までは団体客が動いていたが、6月に入ると、観光の団体客が動かない。東京スカイツリーがオープンした影響が出てきているのではないかと考えている。
		旅行代理店（支店長）	販売量の動き	・6月に入り、国内・海外共に個人旅行の売上が前年を下回っている。また、出張需要も減少している。
		通信会社（営業担当）	販売量の動き	・新商品発売前で、顧客が買い控えている状況にある。
		ゴルフ場（従業員）	来客数の動き	・6月の予約率は、前年に比べて非常に悪い。加えて、雨の日が多いため、予約のキャンセルが多く発生している。
		美容室（経営者）	お客様の様子	・顧客が消費を抑える傾向にあると感じる。
	悪くなっている	一般小売店〔書籍〕（営業担当）	販売量の動き	・店頭売上、外商売上ともに前年を下回っている。特に外商では、大口先の販売件数、売上高ともに減っている。
		コンビニ（総務）	来客数の動き	・直近3か月間は来客数の前年割れが大きくなってきている。前年比4%減少している。
		衣料品専門店（総務担当）	販売量の動き	・昨年に比べ、売上が大きく低下している。台風など、天候不良の影響もあるが、それ以上に来客数、販売量ともに落ち込んでいる。
		通信会社（支店長）	販売量の動き	・新商品発売前の買い控えが顕著である。
企業動向関連 (四国)	良くなっている	-	-	-
		一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・復興需要が顕在化してきている。
	やや良くなっている	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・保守部門は悪いものの、7月1日から再生可能エネルギーの固定価格買取制度が開始されるため、かなりの新規受注が入っている。
		変わらない	繊維工業（経営者）	受注量や販売量の動き
木材木製品製造業（経営者）	受注価格や販売価格の動き		・相変わらず景気は悪い。消費税増税前の駆け込み需要も予想されるが、販売単価が上がらない一方で、原材料価格が上昇する厳しい状況にある。	

	パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・現状のまま続くものと考えている。新商品の開発、あるいは新規販売先を見つけなければ、上向かないと考えている。	
	電気機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・受注のトータル数量は減少していないが、新規受注量が減少してきている。	
	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注量、受注単価ともに伸びない。	
	輸送業（経営者）	取引先の様子	・先行き不安が拭えないため、今と変わらないと考える。	
	通信業（部長）	受注量や販売量の動き	・夏モデルの発売前で、買い控え等から販売量は伸びていない。	
	金融業（融資担当）	取引先の様子	・製造業が設備投資に消極的な姿勢が見られる。円高や株安の影響を挙げる経営者が多い。	
	公認会計士	取引先の様子	・関与先の試算表等から判断すると、売上が、前年比で低下している。利益も、昨年と同様、7割近くが赤字となっている。	
	やや悪くなっている	農林水産業（総務担当）	受注価格や販売価格の動き	・市場への出回り量は多くないが、店頭での売行きが悪く、流通在庫が増えている。
		食料品製造業（商品統括）	競争相手の様子	・競合相手が倒産（自己破産）した。
		鉄鋼業（総務部長）	受注量や販売量の動き	・主要取引先が円高の影響によって、従来当社へ発注していた鋳鋼品の一部を、海外発注に切替えた。
		輸送業（営業）	取引先の様子	・5月に引き続き6月も前年実績を下回る見込み。複数の業者から、見積をとり、最安値の業者と契約をする荷主が増えている。運賃の値下げ要求に限界を感じた荷主の中には、輸送に関わる荷まき等の附帯作業や倉庫保管にまで料金引下げを求めるところまで発展している。
		輸送業（支店長）	受注価格や販売価格の動き	・荷主のコストダウンを目的とした輸送価格値下げの要請を受け、当方の固定費を消化出来ればと考えていたが、限界に近づいている。
	悪くなっている	-	-	-
雇用関連	良くなっている	-	-	-
(四国)	やや良くなっている	新聞社〔求人広告〕（担当者）	周辺企業の様子	・エコカー補助金の終了が迫っている自動車販売店は販売強化に向けて積極的に出稿しており、堅調に活動している。ただし、公共団体や百貨店、スーパーは変化が無い。
	変わらない	人材派遣会社（営業）	周辺企業の様子	・第一四半期が終了しようとしてつつあるが、現在は計画通り実施できているかの分析を始め、修正点の検証が行われている状況が感じられる。よって、景気動向は表面上判断し難い状況である。
		人材派遣会社（営業担当）	求職者数の動き	・求人需要はあるものの、期日で終了するケースが多く、現状と変わらない。
		職業安定所（職員）	求職者数の動き	・雇用保険失業給付の申込数が、前年比約18%増加している。産業や職種に偏重はなく、年齢層もまんべんなく増加傾向にある。
		民間職業紹介機関（所長）	雇用形態の様子	・企業は、良い人材がいれば採用を考えるとという姿勢で、採用決定までに非常に時間がかかっている。
	やや悪くなっている	職業安定所（職員）	それ以外	・5月の有効求人倍率は0.63倍で、3か月前より0.12ポイント下回っている。
	悪くなっている	求人情報誌（営業）	求人数の動き	・地域経済、雇用を支えている造船関連企業が、円高による先行き不透明感から、新卒・中途とも採用数を減らしている状況にある。